

●AI豆本（小さい絵本）の進め方

【概要】AIでストーリーやイラストを言葉や写真をもとに生成・印刷し、手のひらサイズの小さな絵本を創作するワークショップです。（所要時間：マルシェ形式15分～、ワークショップ形式：約50～70分）

おはなしをつくろう
AIといっしょに、世界に一つだけの本を作ろう！

① どんなおはなしを作る？

② いつ？

ほしがきれいなときに 月がきれいなときに 雪がふるときに
あめがふる、あまのふり きのうのあまのふり きのうのあまのふり
あまのふり 月がきれいなときに 月がきれいなときに
またはおはなしに入力...

③ どこで？

いそがしい 静かな場所 静かな場所 静かな場所
うさぎ 月がきれいなときに 月がきれいなときに 月がきれいなときに
またはおはなしに入力...

④ どんな？

かわいい かわいい かわいい かわいい かわいい かわいい
げんき げんき げんき げんき げんき げんき
またはおはなしに入力...



【事前準備チェックリスト】

- ☐ 機材: タブレット/PC（Wi-Fi接続）、A4カラープリンター（用紙・インク確認）、進行者用端末とプロジェクター／モニターなど
- ☐ 用具: はさみ、ペーパーカッターなど
- ☐ 卓上書類: <必要に応じて> 豆本簡易手順書、豆本用ワークシート

【当日のタイムスケジュール：ワークショップ形式じっくり2回生成パターン】＊一例です。

- 00分～（05分）: AIクイズ（アイスブレイク）
- 05分～（05分）: 1回目 AIでストーリーを生成（文字・音声で生成）
＊気に入ったものができるまでやり直してもOK、1回目は選択肢からサクッとでも。
- 10分～（05分）: 1回目 AIでイラストを生成（写真利用可、テイスト選択）
＊気に入ったものができるまでやり直してもOK。
- 15分～（05分）: 印刷＆お渡し（印刷画面で「ほぞん」→スタッフがPCからダウンロードして印刷）
- 20分～（05分）: クラフト作業（切る・折る）＆絵本を読んで楽しむ
- 25分～（05分）: 振り返り、ワークシート記入（省略も可能）
- 30分～（05分）: 2回目 AIでストーリーを生成（文字・音声で生成）
＊2回目は言葉にこだわる、生成したストーリーを手直しするなどもOK
- 35分～（05分）: 2回目 AIでイラストを生成（写真利用可、テイスト選択）2回目は異なる絵のテイストなども！
- 40分～（05分）: 印刷＆お渡し（印刷画面で「ほぞん」→スタッフがPCからダウンロードして印刷）
- 45分～（10分）: クラフト作業（切る・折る）＆絵本を読んで楽しむ
- 55分～（5分）: 振り返り、ワークシート記入（省略も可能）
- 60分～（05分）: 朗読会／発表・まとめ・片付け

＊どこまでこだわって制作するのか、何回生成＆何個絵本を作るか、ワークシートの振り返り、朗読／発表会の有無で時間調整が可能です。

【当日のタイムスケジュール：マルシェ形式】来場次第五月雨式に体験

- 00分～（05分）: AIでストーリーを生成（文字・音声で生成）
- 05分～（05分）: AIでイラストを生成（写真利用可、テイスト選択）
- 05分～（05分）: 印刷＆お渡し（印刷画面で「ほぞん」→スタッフがPCからダウンロードして印刷）
- 10分～（5分）: クラフト作業（切る・折る）＆絵本を読んで楽しむ

【進行の流れ・操作手順】

教材上部にある「きょうかしょ」または豆本簡易手順書、ならびに画面をプロジェクターで共有しながらの進行をお勧めします。

- ①最初の画面では「いつ?」「どこで?」「どんな?」「だれが?」「なにをする?」を選択肢から、言葉・音声入力で指示します。直接全文を「つくるおはなし」に入力も可能です。小さい子は「好きなものを選んでみて(選択肢)」大人には「実際にあったことの記録、子どもやペットのお話しはいかがですか」と世代や興味関心に合わせて声をかけ入力します。

決まったら「おはなしを作る!」を押します。

- ②「おはなしのあらすじ」であらすじの確認、「おはなしをへんしゅう」で「タイトル」と6ページの「文」と生成する絵の説明を確認 & 必要な修正を行います。小さい子はおうちの人に読んでもらいながら、必要な部分を修正していきます。1回目はそのまま修正せずに進めても良いと思います。

- ③写真を「つかわない」「つかう」から選択します。教科書はつかわない場合の流れになっていますが使う場合は、アルバムまたはカメラから写真

- ④絵のスタイル(テイスト)を選びます。迷っている時には「きょうかしょ」でサンプルを示して選択を促します。

- ⑤「えほんを作る!」を押すと生成が始まります。
AIの生成で待ちが発生する場合があります。エラーが表示されたら再度「えほんを作る!」を押してください。

- ⑥イラストが表示されます。
気に入らない時、ハルシネーション(明らかな誤り)を起こしている時は「もどる」を押して再度生成を行なうように説明してください。

- 「えほんができたよ!」画面では「ほぞんする」を選びます。
⑦スタッフ側のPCで「つくったもの」からPDFをダウンロードしてプリンターで出力します。
* 事務所のプリンタでの出力手順は<https://biz.yuber.jp/kantan-guide/>の「STEP 3 | 印刷手順」を確認ください。

- ⑧切って追って完成です!
折り方はスタッフの説明や動画で説明してください。

【声かけのコツ】

- ・ストーリーに悩んでいる時:項目数が多いため小さい子は選択肢から選んでみるのもお勧めです。写真の利用が可能なので「自分」や「家族」「ペット」などの〇〇日記のような記録としても制作可能なことを伝えてください。
- ・入力に時間がかかる:項目数が多いのでタッチ入力に時間がかかる場合は音声入力がお勧めです。
- ・言葉の指示による出来栄を体験してもらうように、“自由な発想”で“できるだけわしく”指示を出すようにと説明する。2回生成する場合は、言葉の解像度による差も体験いただいて、より豊かな学びを。
- ・テイストに迷っている時:手順書にあるサンプルを示して、「アニメはアニメ映画みたいな感じ、アメコミはビビッド(はっきりした派手な)色調、シンプルはほのぼの、リアルは写真みたいで少し怖いよ」など補足する。
- ・やり直し(再生成)が止まらない時:
「どの話しもすごく素敵!一旦印刷して、まずはひとつ完成してみようか!」と優しく次のステップへ誘導する。ただ、余裕がある時はじっくりこだわるのも大切!
- ・切り方や折り方に迷う時:豆本は中心に切り込みをいれるためやや迷います。完成品サンプルを広げて机にサンプルとして配置するとお手本になります。
- ・切ったり折ったりが難しい時:お手本を見せながら「一緒に作ってみよう」とサポートする。